



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年11月2日

上場会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ  
 コード番号 7506 URL <http://www.houseofrose.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 神野 晴年  
 (氏名) 池田 達彦  
 TEL 03-5114-5800  
 配当支払開始予定日 平成29年12月6日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,071	3.3	315	45.7	307	49.1	186	36.3
29年3月期第2四半期	6,848	△0.2	216	96.0	206	80.3	136	224.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	39.63	—
29年3月期第2四半期	29.08	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	8,754	5,475	62.5	1,164.39
29年3月期	8,538	5,369	62.9	1,141.84

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 5,475百万円 29年3月期 5,369百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
30年3月期	—	20.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	2.7	430	6.8	430	8.6	215	1.4	45.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	4,703,063 株	29年3月期	4,703,063 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	539 株	29年3月期	539 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	4,702,524 株	29年3月期2Q	4,702,579 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第2四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期の国内景気は、企業収益や雇用情勢の改善等が継続し、内外需共に安定した回復基調で推移いたしました。その一方、国内外の政治情勢が混迷を深めるなど、先行き不透明な状況はこの先も続くものと思われます。小売業界につきましては、人手不足の厳しさが一段と強まっている中で、夏場の天候不順による影響を受けながらも、消費者マインドの持ち直しやインバウンド需要の復調などにより、ネット消費に押されつつある“リアル”店舗においても、総じて緩やかな上昇傾向を見せました。

#### (直営店商品販売事業)

主力であるハウス オブ ローゼ直営店販売事業につきましては、“ミルキュアピュア”及び“リファイニング ホワイト”の両スキンケアラインを主軸とするコンサルティング販売の強化、及び課題である新客増加を目的とした商品の拡充や、広告宣伝をはじめとした諸施策に注力いたしました。また「1店舗当たりの収益力強化」を推進するため、前期に引き続き不採算店舗の退店を実施、当第2四半期までに2店舗出店するも3店舗退店したことで、前年同期末より2店舗減少となりました。新店効果もあり専門店客数は前年同期を上回りましたが、百貨店における客数減と店舗数の減少が影響し、売上高は前年同期比0.4%の微減となりました。

ネット通販事業は、自社ネット通販においてSNS等で新規層へアプローチする新たな広告宣伝等を実施しました。会員数も順調に増加し、売上高は前年同期比25.1%の増加となりました。

他の直営店商品販売事業を加えた当事業売上高は、54億6百万円とほぼ前年同期の売上高を確保しましたが、店舗スタッフの雇用確保に伴う人件費の増加により、営業利益は89百万円(前年同期比22.8%減)と減少しました。

#### (直営店サービス事業)

リラクゼーションサロン事業は事業改善を進めており、その一環として当四半期では2店舗を退店し、店舗数は前年同期より5店舗減少しました。退店店舗の施術スタッフを再配置することで、課題であったスタッフ数不足は徐々に解消しつつあるものの、店舗数及び客数減等の影響で、売上高は前年同期比6.1%減となりました。一方カーブス事業は、7月に約4年ぶりに出店した新店を中心に順調に会員数を伸ばし、当四半期末会員数は前年同期より200名強増加しました。売上高は前年同期比1.8%の増加となりました。

以上の結果、当事業売上高は8億5百万円(前年同期比2.6%減)、営業利益はカーブスの新店に係る費用の発生もあり56百万円(同27.0%減)となりました。

#### (卸売販売事業)

個人オーナー向け卸売部門は、店舗数の減少や既存店売上の低迷が影響し、売上高は前年同期比4.3%の減少となりました。一方、量販店向け卸売部門は、ボディケア化粧品を中心とした新MD「リラクスタイム」の展開並びに店舗運営に係るフォロー体制を強化し、売上高は前年同期比1.6%の増加となりました。また、その他一般向け卸売につきましては、現在試行中の中国向け越境EC事業者への卸売販売が大きく増加したことに伴い、売上高は前年同期の約2.7倍と大きく増加しました。

以上の結果、当事業売上高は8億59百万円(前年同期比40.2%増)、営業利益は1億69百万円(同650.6%増)に拡大しました。

以上、当第2四半期における全社売上高は70億71百万円(前年同期比3.3%増)となりました。一方、費用面では、卸売部門の売上高増加に伴い売上原価率が上昇しましたが、総経費が前年同期水準に抑制されたこともあり、営業利益は3億15百万円(同45.7%増)、四半期純利益は、1億86百万円(同36.3%増)となり、増収増益を確保いたしました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より2億15百万円増加し、87億54百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より3億66百万円増加し、52億82百万円となりました。これは主に現金及び預金が3億74百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末より1億50百万円減少し、34億71百万円となりました。これは主に土地が39百万円、投資その他の資産(その他)が85百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末より1億9百万円増加し、32億78百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1億34百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末より1億6百万円増加し、54億75百万円となりました。これは主に利益剰余金が92百万円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回発表(平成29年8月4日決算短信)に記載の業績予想に変更はありません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,281,469	2,656,096
売掛金	983,448	1,013,680
商品及び製品	1,515,663	1,497,122
その他	135,612	115,891
流動資産合計	4,916,194	5,282,791
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	376,016	368,982
土地	1,408,982	1,369,668
リース資産（純額）	30,486	22,506
有形固定資産合計	1,815,485	1,761,157
無形固定資産	15,224	4,276
投資その他の資産		
差入保証金	645,176	645,155
その他	1,147,519	1,062,042
貸倒引当金	△709	△838
投資その他の資産合計	1,791,986	1,706,359
固定資産合計	3,622,695	3,471,793
資産合計	8,538,890	8,754,585
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	318,145	452,560
電子記録債務	821,809	797,626
未払法人税等	146,049	152,167
賞与引当金	199,627	196,702
その他	508,749	487,399
流動負債合計	1,994,382	2,086,456
固定負債		
退職給付引当金	1,054,267	1,089,195
役員退職慰労引当金	59,884	64,464
その他	60,821	38,878
固定負債合計	1,174,973	1,192,537
負債合計	3,169,355	3,278,993
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	934,682	934,682
資本剰余金	1,282,222	1,282,222
利益剰余金	4,070,849	4,163,165
自己株式	△566	△566
株主資本合計	6,287,186	6,379,503
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	53,282	67,021
土地再評価差額金	△970,933	△970,933
評価・換算差額等合計	△917,651	△903,912
純資産合計	5,369,535	5,475,591
負債純資産合計	8,538,890	8,754,585

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	6,848,355	7,071,943
売上原価	1,902,393	2,020,159
売上総利益	4,945,961	5,051,783
販売費及び一般管理費	4,729,149	4,735,880
営業利益	216,811	315,903
営業外収益		
受取利息	1,458	859
受取配当金	1,749	1,845
不動産賃貸料	388	583
その他	1,995	2,479
営業外収益合計	5,593	5,766
営業外費用		
支払利息	813	372
リース解約損	14,669	13,334
不動産賃貸原価	476	245
営業外費用合計	15,959	13,953
経常利益	206,445	307,716
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,792
特別利益合計	—	2,792
税引前四半期純利益	206,445	310,508
法人税、住民税及び事業税	100,773	118,924
法人税等調整額	△31,057	5,216
法人税等合計	69,715	124,141
四半期純利益	136,730	186,367

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。